リンクチャート

あるものと、別のあるものとを結びつけて考えることによって、考えがより確かになり、それぞれだけではわからない新しい考えや見方を得たり、新しい発想が生まれたりします。

リンクチャート

リンクチャートは、二つ以上のを並べ、結びつけて考えるときに使うチャートです。

どのような観点で関連づけたのか、関連づけることによってどのような発想が得られたのかをメモしておくと、思考の流れが可視化され、見直したときにわかりやすくなります。

観点によっては、意外なものどうしが関連づけられることもあるよ。

関連づける

関連づける

リンクチャートで関連づける事柄は、「具体例と具体例」「過去のできごとと現在のできごと」「事実と自分自身の体験」などさまざまな場合が考えられます。

上の図では、「バリアフリー化について、『十分進んだ』『まあまあ進んだ』と考えている割合は、層ほど高い。」という事実（調査結果）と、祖父の乗るを押したときの自分自身の体験とを関連づけることで、自分なりの考えを得ています。

チャートに書いてみることで、頭の中で考えていることが整理されるよ。

若年層はバリアフリー化を実感しているのではなく、生活のなかで不便さを感じる機会が的少ないのではないか？

祖父の乗る車椅子をしながら町を歩いたとき、細かい段差や、エレベーターの少なさなど、ふだんは気にならない点を不便に感じた。 【自分自身の体験】

調査によると、バリアフリー化について、「十分進んだ」「まあまあ進んだ」と考えている割合は、若年層ほど高い。

【事実（調査結果）】

リンクチャートの使い方の例

**関連づける**

**関連づける**

リンクチャート

リンクチャート